

# ブリティッシュ・コロンビア大学 2023年度サマープログラム体験記①

人間学群障害科学類3年 田中ひらりさん



【参加コース】 Kinesiology

Course 1: Sport and Exercise Psychology

Course 2: Exercise and Health Physiology



「このプログラムに参加しなかったらどうなっていたんだろう」と思うほど、このプログラムを通して「人生で最高で幸せな経験！！」と言える時間を過ごすことができました。そして、これまでの自分、今の自分、将来の自分を改めて見つめなおすきっかけになりました。そこで出会った人たちは、プログラムが終わっても日本まで私に会いに来てくれたり、毎日電話したり、一生モノの親友となりました。また、様々な考えを持つ人たちから刺激を受け、自分は人生で何をしたいのかが明確になったとても有意義で素敵な時間でした。

このプログラムを決めた理由は、3つあります。1つ目に、中学・高校の6年間、国際バカロレアで英語を使う日常を送っていて、英語でコミュニケーションを取ることが好きだったからです。2つ目に、大学最終学年になる前にいろんな経験をして、将来のことについて考えておきたいと感じたからです。3つ目が一番の理由ですが、私の興味と学びたい分野が詰め込まれたプログラムだったからです。それは、LGBTQについてとアダプテッド・スポーツについてです。後者については、現在、トライアスロン部に所属していて、私自身がスポーツを通して助けられた経験があり、スポーツの可能性が障害のある方へどのように影響を与えるのかについても学べる環境があったからです。

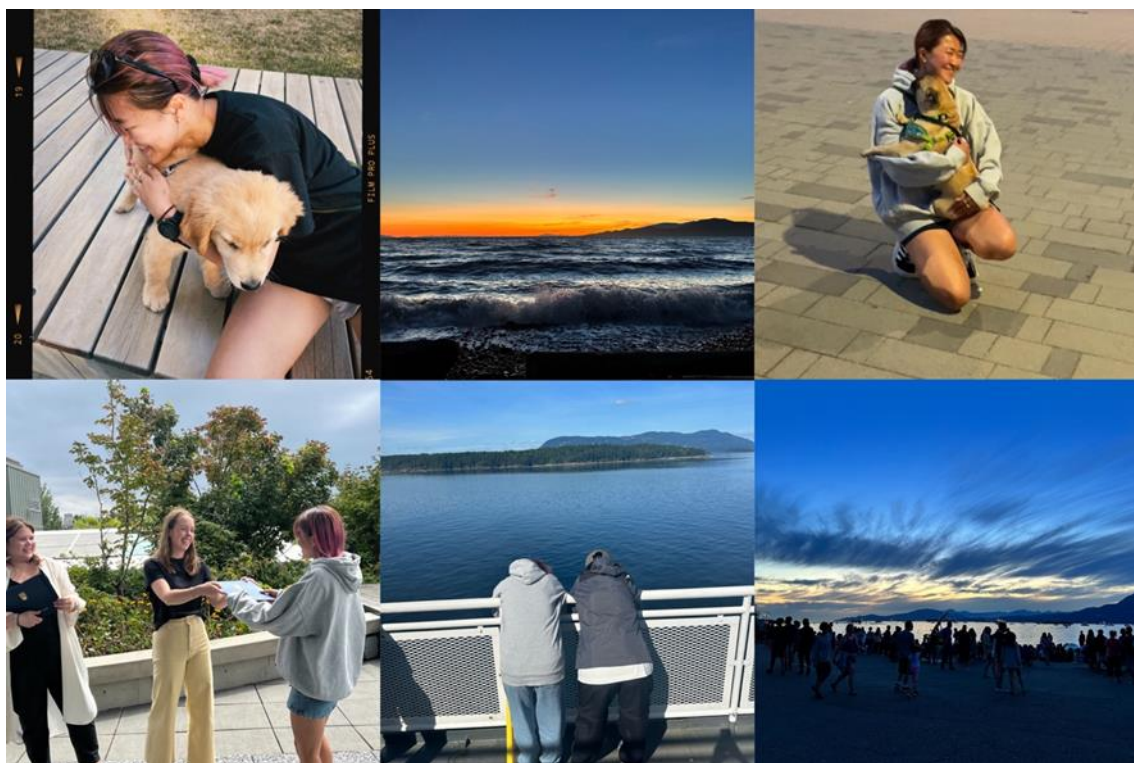
このプログラムでは、講師としてUBCの大学院生や博士課程の生徒が授業を行ってくれました。平日の朝から夕方までお昼を挟んで、Course 1とCourse 2の授業が行われ、授業の中には課外活動もあり、例えば、Richmond Olympic Oval というオリンピック施設に行って、カナダにおけるオリンピックの歴史について説明を受けたり、車椅子バスケットを経験してみたりしました。また、ICORDという脊髄損傷の人のためのリハビリ施設に行って、その施設にいる人の話を聞いたり、障害のある人と実際に関わり話すことができ、自分がどんな人をどのようにサポートしていきたいかを考えるきっかけになりました。授業が終わって夕方6時くらいから（夏のバンクーバーは夜の9時半くらいまで普通に明るい）、プログラムの一環として、サッカーや野球を観戦したり、カヤックを行ったりしました。全体の授業を通して、コースごとの最後のプレゼンテーションに向けてグループを組み、休みの日も夜遅くまで寮でプレゼンの準備をして、同時に期末試験の勉強も頑張り、仲間と共に夜ご飯をキッチンで作ったり、ソファでみんなで寝泊まりしたりして、翌朝そのまま授業に行ったりしたことも、良い思い出です。

週末は、友達と旅行に行ったり、フェリーを予約してバンクーバーからビクトリアに遊びに行き、車で観光したり、とても自由な時間を過ごしました。私は、幸運なことにUBCの現地の学生とも友達になり、いろんな場所に連れて行ってもらったり、障害のある人のランニングのサポートを行うボランティアに参加したり、様々な経験をする事ができました。

このプログラムには日本人がほとんどいなくて、それも英語力向上に繋がりました。私以外に一人日本人の学生がいましたが、お互い話すときも英語で、志の高い方がたくさんいたように感じます。このプログラムの参加者は、みんな自分が学びたい分野を選んで来ていたので、同じような人、同じ志を持つ人が集まっているように感じました。私の場合は、スポーツが好きでばかりの環境で、障害の人やマイノリティの人たちを助けたいという人が集まりました。また、自分自身も障害があったり、LGBTQ当事者など、彼らと一緒にいて、私自身もとても刺激を受けたくさん学ばせてもらいました。私の将来の目標はずっと変わらず、「障害のあるなしに関わらず、みんなが笑顔で、自分らしく生きられる世界を作ること」です。そして、この素敵な出会いとともにその人たちの葛藤を知ること、自分の目標が明確になりました。そして、筑波大学に戻ってから、BHEジェンダー支援チームの学生コアスタッフになることに決めました。

このプログラムを通して、私自身、もともと明るい性格でしたが、さらにポジティブになり、自分らしく生きられるようになりました。そして、誰もが個性を発揮できる権利がなくてはならないということ強く感じ、将来の夢に向かって変わらず頑張っていこうと思いました。

たくさんのチャンスと人生のヒントが転がっているこのプログラムに、ぜひ参加してみてください。



# ブリティッシュ・コロンビア大学 2023年度サマープログラム体験記②



工学システム学類4年 王兆龍さん



【参加コース】 Business

Operations and Supply Chain Strategy & Business Analytics

私はUBCサマープログラムでBusiness AnalyticsとSupply Chain Strategyについて学んできました。Business AnalyticsではExcelを用いて、ビジネスや組織の意思決定に必要なデータの分析やシミュレーションする手法を学びました。Supply Chain Strategyでは世界の様々な成功している企業の事例をもとに、組織運営やサプライチェーン戦略を学びました。私の専攻がビジネスではないので、ビジネスに関する知識が浅く、授業についていくのが少し大変でしたが、自分の専攻と違う分野のことを学ぶのはすごくいい経験になりました。

私のカナダでの1日のスケジュールはこんな感じでした。

平日は、午前中は選んだコースの講義を受け、午後は午前の講義をもとに実際に手を動かしたり、グループワークをしたりする演習でした。課題はデータ分析結果のレポートやビジネスに関する記事を読んで課題に取り組むといったものでした。

放課後は、とっとと課題を終わらせて遊んでいました。留学先で仲良くなった友達とバンクーバー市内に外食にいたり、ホームパーティーをしたり、Drop-inで現地の学生とバドミントンやバレーボールをしたりしていました。1か月はあっという間なので、他の留学生や現地の学生といっぱい遊んで交流したほうがいいです！！

休日は友達とショッピングや旅行に行ったり、UBCサマープログラムが主催するツアーやイベントに参加したりしました。新しい友だちもできるし、楽しいので積極的に参加するのがいいと思います！また、サマープログラム終了後に1週間1人旅をしました。カナディアンロッキーに行って、観光地を巡ったり、ハイキングやラフティング、MTBダウンヒルなどのアクティビティをしたりしました。



UBCはキャンパスがとにかく広いです。買い物袋が紙袋なのは個人的に欧米っぽくて好きです。

カナダで過ごした1か月半はとにかく充実していました。私は留学先で日本人の友達があまりいなかったのも、必然的に英語を話すことが多かったです。1か月半英語を使っていると、英会話のスキルは向上し、その国の慣習やノリも分かってきます。また、世界中の様々な国の人と交流し、多様な文化に触れることで自身の視野が広がりました。あと海外での滞在はトラブルがつきものです。（私はスマホを紛失したり、山火事で大陸横断鉄道が止まって目的地まで移動できなくなったりしました。）ただ、そういった経験を乗り越えると人間的に成長しますし、自信がつきます。ぜひ海外に留学してみてください！



UBC主催のツアーでTofinoというところに行った時の写真です。雄大な自然に囲まれていて素敵な場所でした。



ビーチでサンセットを見に行った時の写真です。